

研究課題番号	2-2201
研究課題名	燃焼起源 SLCF の東アジア国別排出量の迅速把握と方法論構築
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	国立研究開発法人国立環境研究所
研究代表者名	谷本 浩志

1. 委員の指摘及び提言概要

短寿命 SLCF 削減を伴う脱炭素化政策策定は急務であり、時宜にかなった研究である。研究の進捗は順調であると評価する。特に、インベントリ・観測・モデル同化に関する評価研究が3つのサブテーマ間の協力で進んでいると評価できる。サブ3の知見の発信・対話活動については、さらに進めてもらいたい。トップダウンとボトムアップの両アプローチによるブラックカーボン等の推計を効率よく進めており目標達成が期待できる。モデルと観測との大きな違いや越境汚染の影響が労働供給と関係するなど興味深い成果が示されている。SLCF 排出インベントリへの貢献などによる環境政策への貢献も大いに期待できる。今後、査読付き論文が数多く出され、IPCC AR7 や北極評議会への貢献が目に見える形で示されることを期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S